

< あなたの治療について >













血内-PDX-PTCL-6 投1休

今回の治療は PDX 療法という治療法で、ジフォルタ（PDX）という注射薬で治療を行います。腫瘍の増殖を抑えるお薬です。

◎ 治療全体の流れ

今回の化学療法は7週間が1コースとなっています。各コースの1日目と8日目と15日目と22日目と29日目と36日目に点滴を行います。この治療を7週間（49日間）ごとに繰り返します。副作用が強く出たり、体調がすぐれない場合は回復するまで、治療を延期したり、お薬の量を減らしたりすることがあります。

◎ 1コース分の治療スケジュール

順序	薬剤商品名 (薬の作用)	投与	1 日目	2-7 日目	8 日目	9-14 日目	15 日目	16-21 日目	22 日目	23-28 日目	29 日目	30-35 日目	36 日目	37-49 日目
①	グラニセトロン (吐き気止め)	点滴 約15分		お休み		お休み		お休み		お休み		お休み		お休み
②	ジフォルタ (抗がん剤) 30mg/m ²	点滴 約5分		お休み		お休み		お休み		お休み		お休み		お休み

★ 点滴中や点滴後に、注射部位が痛い、赤くなってはれる、水ぶくれができる、ただれるなどの症状に気づいたときは、すぐに申し出てください。また点滴中は、腕を動かすことにより針がずれ、点滴漏れが生ずることがありますので気をつけて下さい。

◎起りやすい副作用について（頻度 20%以上）

ジフォルタについて

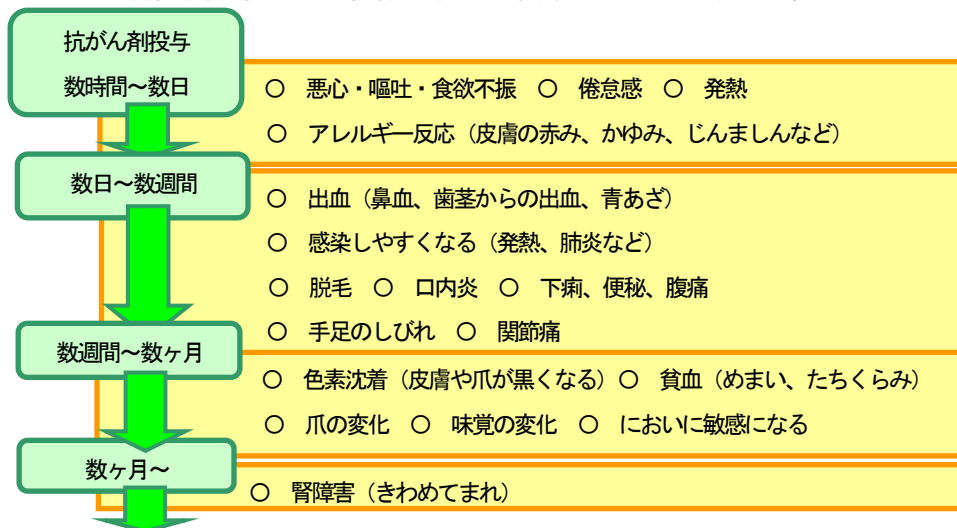
- 白血球数減少、リンパ球減少、好中球数減少、血小板減少、貧血 ●AST 増加、ALT 増加
- 悪心 ●発熱 ●倦怠感 ●口内炎 ●鼻咽頭炎 ●発疹

◎副作用の発現時期の目安

*この図は、今回用いられている抗癌剤による副作用だけでなく、他の抗癌剤によって起こる副作用も含まれています。

これらの副作用がすべてあらわれるわけではありません。

また、発現する時期や程度も抗癌剤の種類や患者さんの体質により個人差があります。



◎副作用の対策について

★吐き気・嘔吐、下痢と便秘、口内炎、感染症、出血、貧血、脱毛などの副作用の対策について知りたい方は、資料をお渡しすることができますのでお申し出下さい。

◎薬品毎の副作用について（添付文書における重大な副作用を製薬会社作成「薬のしおり」などから抜粋） まれな副作用ですが、この様な症状が現れた際には医師・薬剤師・看護師へご相談下さい。

【ジフォルタ】

- 〈口内炎〉口の中が荒れて痛い
- 〈骨髄抑制〉からだがだるい、発熱、鼻血
- 〈感染症〉かぜのような症状、からだがだるい、発熱
- 〈重度の皮膚障害〉からだがだるい、関節の痛み、全身の赤い斑点と破れやすい水ぶくれ
- 〈腫瘍崩壊症候群〉意識の低下、考えがまとまらない、判断力の低下

- ◎ 上記のほかにも副作用が現れることがあります。
他にもからだの異常を感じたら、主治医や薬剤師、看護師に相談してください。